



女性に対する暴力根絶の
ためのシンボルマーク

男女間における暴力に関する調査 報告書

平成 21 年 3 月

内閣府男女共同参画局

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査項目	3
3 調査対象	3
4 調査時期	3
5 調査方法	3
6 調査実施委託機関	3
7 回収結果	4
8 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 職業	6
(4) 最終学歴	8
(5) 未既婚	8
9 この報告書を読む際の注意	9
II 調査結果の概要	11
1 配偶者暴力防止法についての認知	13
(1) 配偶者暴力防止法の認知度	13
(2) 配偶者からの暴力の相談窓口の周知度	16
2 夫婦間での行為における暴力としての認識	18
3 配偶者からの被害経験	35
(1) これまでの被害経験の有無	35
(2) 過去5年以内の配偶者からの被害経験	43
(3) 配偶者からの被害の相談先	49
(4) 相談しなかった理由	52
(5) 配偶者から最初に被害を受けた時期	54
(6) 配偶者から被害を受けたときの行動	56
(7) 配偶者と別れなかった理由	58
(8) 命の危険を感じた経験	59
(9) 怪我や精神的不調	61
(10) 医師の診察等	63
4 交際相手からの被害経験	65
(1) 10歳代から20歳代の頃の交際相手の有無	65
(2) 交際相手からの被害経験	67
(3) 交際相手から被害を受けたときの行動	74
(4) 交際相手と別れなかった理由	75

(5) 命の危険を感じた経験	76
(6) 怪我や精神的不調	77
(7) 医師の診察等	78
(8) 生活上の変化	79
(9) 交際相手からの被害の相談先	80
(10) 相談しなかった理由	81
5 異性から無理やりに性交された経験（女性のみ）	82
(1) 被害経験の有無	82
(2) 過去5年以内の被害経験	83
(3) 加害者との関係	84
(4) 被害にあった時期	86
(5) 被害の相談先	87
(6) 相談しなかった理由	88
6 男女間の暴力を防止するために必要なこと	89
7 政府による広報の周知	92
使用した調査票（単純集計結果）	95
集計結果	109